

Web Usability & Accessibility

28 「日本のCATV」サイト

http://www.catv.or.jp/

ホームページ作成ソフトでの安易なWebサイトには問題点多し

番組再送信に加えて、インターネット接続サービス等のサービスの多角化によって変身を図るケーブルテレビ業界。さらに、ヘッドエンドの共用やVoIP等に見られる隣接地域事業者間の連携、サービスの広域化、経営効率化など将来に備えた準備も怠りない。この業界主要団体の広報窓口ともいえるWebサイトはどのような目的で開設されているのか。「日本のCATV」サイトを事例に、濱田・石田両氏がサイト制作の基本論を説いた。

Usability (解説/石田直子)

「日本のCATV」は安易に作ってしまったWebサイトの典型的な問題点を持っています。自分でWebサイトを作りたいと考えている人に、このサイトを例に、サイト制作の最低限の手順を考えてみましょう。

【WebページとWebサイトの違い】

HTMLタグを一生懸命打ち込んでいたのは大昔。今やWebページは、ワープロと同じ感覚で作ることができます。各種ホームページ作成ツールが手に入り、誰でもきれいなWebページを作れるようになりました。

しかしWebページとWebサイトは違います。ページは一枚の画面(ページ)でしかありませんが、サイトは相互にリンクされた階層的なWebページの集合体です。

ツールができるのはWebページのデザインやリンクの作成、階層構造の管理の方法でしかありません。Webサイト構築にはページの作りこみの前にサイトの目的の明確化と、サイト構成のプランニングが必要です。

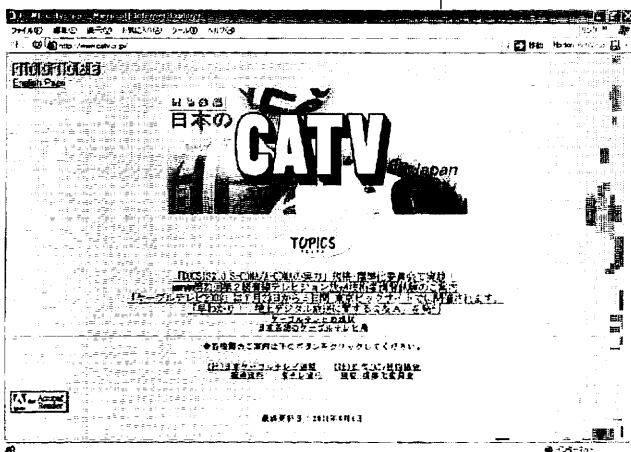
【Webサイト製作はプラン作りから】

「日本のCATV」(図1)は、URLを見る限り、このページがサイトのトップであるようですが、サイトがどのような目的で作られているのか、コンテンツには何があるのか、などがわかりません。

<サイトの目的を考える>

Webサイトの目的がなければ、サイト製作は始まりません。ここでは日本のCATVに関する情報を提供するサイトを作るとします。

図1



<提供する情報(コンテンツ)を整理する>

このサイトでは講習会情報、技術情報、関連ニュースなどを掲載する情報を想定し、これをメニュー(階層の入り口)となるように分類します。また同様に、関連リンク、運営している組織やその連絡先などの項目を用意します。最後にこれらの情報を、どのようにリンクするかを考えます。

【デザインはプランがあれば見えてくる】<デザイン作成>

具体的なプランができると、各ページのナビゲーションの方法や、内容に適した情報提示が想定できます。これを基にデザインを考えます。

デザインとはイラストや画像で華美に飾るものではありません。サイト構造を表現し、掲載する情報を見やすく、操作しやすい配置にすること。そのうえでサイトの個性を表現することがデザインです。デザインの過程で重要なのは、サイトの統一感を出すための、色や配置などのデザインプランを決めることです。

ここまでの過程は、ホームページ作成ツールには必要ありません。Webページ制作の際には、最低限この3つのプロセスを経るだけで、ユーザビリティが向上します。

【ホームページ製作ツール】

「日本のCATV」のページや、リンクされているトピックスのページ(図2)はWordで作ったドキュメントをHTMLにしています。Webと紙媒体は表現の方法が違うので、紙面と同じ形式をWebに載せるべきではありません。

このことはWord文書をPDF化して報道発表

を掲載している他のサイトにも言えます。またトップページは、ナビゲーションやサイト全体構造を見せるなどの役割があり、これはWordなどのワープロソフトがつくるHTMLではこの役割は無理です。ホームページ作成ツールは、Web媒体の特性を理解した表現方法が誰でもできるように工夫されています。(社)日本ケーブルテレビ連盟(図3)のページは、ツールで制作されていますが、個性に欠けています。これはユー

図2

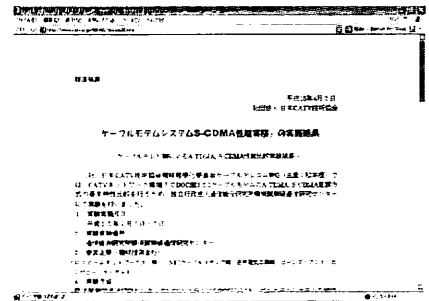
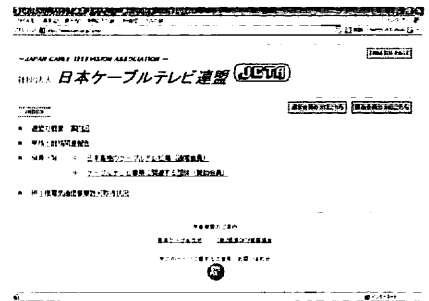


図3



ザーの記憶に残らない、満足度が低いなどの問題があります。

—— 評価 ——

サイトの目的が伝わること ★
何がそのサイトの狙いなのかをトップページで表現します。

学習しやすさ ★
すぐそれを使い始められるように、全体像と次に何をすべきかを伝えています。

効率性 ★
デザインや構成が統一されていると作業の効率性が上がります。

記憶しやすさ ★
上記と同じく、デザインや構成が統一されていると記憶しやすくなります。

エラーを少なく ★
エラーはないほうがよいのですが、避けられないものでもあります。回復方法が明確になるように。

満足を与える ★
ユーザーにとって楽しかったり、有益であったりというメリットが必要です。

総合評価 ★

Webで何をどのように伝えたいのかをある程度考えなければ、Webページの集合体でしかなくなってしまいます。



アクセシビリティ分析担当
濱田英雄
(株)ユーディット 主任研究員
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当
石田直子
(株)ユーディット 研究員
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット
URL <http://www.udit-jp.com>
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

Accessibility (解説/濱田英雄)

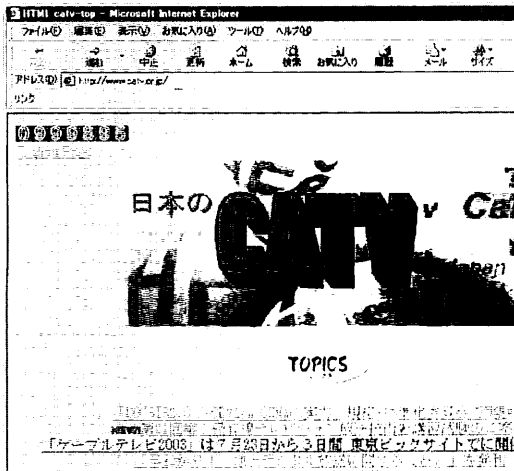


図4

今回調査対象とした「日本のCATV」と、「日本ケーブルテレビ連盟」サイトはテキスト中心のために大きな問題はありますが、ホームページ作成ソフトで作られたことに起因する問題が各所に見られました。

【音声での読み上げ方】(図4)

代表的な音声ブラウザの「Home Page Reader」は、英単語の読み上げ方に特徴があり、書き方によって読み方が変わります。

トップページの<title>が「HTML catv-top」となっていますが、「きゃとぶとつ」と読まれています。この場合、大文字「CATV-TOP」にすると「しーえいていぶいとつ」と正しく読み上げるようになります。

ただし、「HTML catv-top」はこのページの<title>としては相応しくないで「CATVジャパン」「日本CATV」とした方がよいでしょう。同様に、(社)日本ケーブルテレビ連盟の「ENGLISH PAGE」は、「いんぐりっしゅべーじー」と読まれ、CATV JAPANのように「English Page」とすれば「いんぐりっしゅべーじ」と読まれます。つまりHome Page Readerは、小文字は英単語として、大文字はアルファベットとして読まれる確率が高くなっています。いずれにしても、一度音声ブラウザで聞いて確認してみることが望まれます。

【タイトル画像の表現】(図5)

中央に「トピックス」という楕円のタイトル画像がありますが、リンクボタンに



見えてクリックしなくなります。利用者にはマウス操作が困難な人がいることを考慮して、見た目でもリンクボタンかタイトルロゴなのかわかるように工夫しましょう。

【作成ツールの問題】(図6)(図7)

図6の「新刊図書を紹介」のページですが、WordからHTMLに変換されたものらしく、かなりのデータ容量(409行 26.7KB)になっています。試しに同じ素材を図4のような型に作り替えると、容量は約10分の1(43行 2.25KB)になります。簡単に交換できることから、使われることが多いようですが、回線速度が遅い環境の人がいることを考慮して、ページは、できる限り軽く作りましょう。

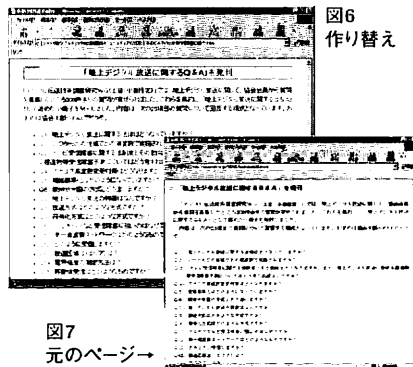


図6
作り替え

図7
元のページ

【画像へのリンク】(図8)(図9)

(社)日本ケーブルテレビ連盟のトップページにある「案内図」が、JCTAmap.gifという地図画像に直接リンクが貼られています。これでは音声ブラウザでは、何も情報が得られなくなります。1ページ作って、タイトルや内容の説明を入れる必要があります。

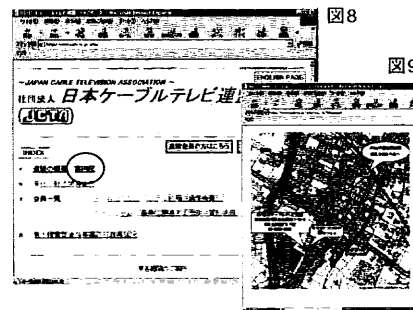
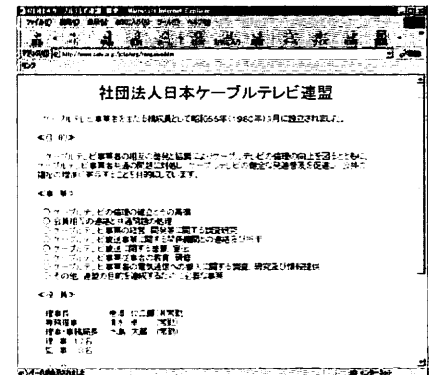


図8

図9

【音声での読み上げ方】(図10)



もう一つ音声での読み上げの問題です。(社)日本ケーブルテレビ連盟の概要のところ、見たいレイアウトのために単語の間にスペースが入っています。この連載でも何度か取り上げましたが、単語間にスペースや改行
を入れると、音声ブラウザでは正しく読み上げられません。たとえば、「目的」は「めまと」、「事業」は「ことぎょう」、「理事」は「りこと」、「監事」は「かんこと」のように読まれ、本来の意味がわからなくなります。

評価

■画像にはALT属性をつけること ★★★

ALT属性がついていません。

■リンクボタンになっている画像のすべてにALT属性を使ってリンク先を明確にすること ★★★★★

リンクする画像は使っていないようです。

■日本語のページでは外国語の乱用はせず、誰にでもわかるように配慮すること ★★★

一部専門用語がありますが、サイトの性質上仕方ないでしょう。

■色によって伝えられる情報は、色がなくても伝わるようにすること ★★★★★

とくにないようです。

■HEADにつける<TITLE>は内容がわかるように適切なタイトルをつけること ★★

ついていないものや、適切でないものがあります。

■レイアウトのテーブルは、情報が適切に音声ブラウザで読み上げられること ★★★★★

レイアウトテーブルは使われていますが、適切に読まれています。

■総合評価 ★★★★★

テキストが中心なので大きな問題はありませんでしたが……。